

平成 29 年度東北被災地復興状況視察調査日程 7月 25 日(火)～7月 28(金) (4日間)

■ 1 日目 (320 k m)

7月 25 日(火)

9 : 00 福岡空港集合 (弁当配布します)

10 : 05 福岡空港出発～11 : 55 仙台空港着

13 : 00 レンタカーで出発～18 : 30 宮古市田老町グリーンピア着

① 田老仮設住宅居住者でつくる「のぼりさけ幟づくりの会」の皆様及び

宮古市防災担当者も交えての交流会

【宿泊先 宮古市田老向新田 148 グリーンピア三陸宮古 0193-87-5111】

(宿泊 2～4 名部屋)



■ 2 日目 (150 k m)

7月 26 日(水)

ホテル 8 : 00 ②グリーンピア三陸みやこ第一仮設住宅 1 視察～③小堀内地区視察～④田老町防

潮堤視察 10 : 00～⑤宮古市行政視察 12 : 00～山田町～13 : 30⑥大槌町らふたヒルズ 14 :

30～14 : 40 釜石市鶴住居(⑦防災センター跡・鶴住居小学校跡)～大船渡～16 : 30⑧陸前高

田市 (復興商店街視察・奇跡の一本松) ～18 : 00 気仙沼宿泊

【宿泊先】サンマリン気仙沼ホテル観洋

■ 3 日目 (120 k m)

7月 27 日(木)

ホテル 8 : 00～三陸復興国立公園 (岩井崎) ～9 : 00⑨気仙沼本吉 (仙翁寺) ～11 : 00

南三陸(⑩防災センター・さんさん商店街)12 : 30～13 : 20⑪大川小学校跡地～雄勝～

14 : 30 女川～石巻 15 : 00⑫石巻市視察 (被害と復興の取り組み) ～18 : 00 宿泊先～

交流会

【宿泊先 石巻サンプラザホテル】

交流会は千葉市議、市防災担当者と交流予定です。



■ 4 日目 (410 k m)

7月 28 日(金) 7 : 00 小型貸切バス～石巻市内視察 8 : 00～10 : 00⑬相馬市～11 : 00 双葉

町～16 : 00 成田空港着～大分 20 : 00

・参加費用:約 10 万円 (交流会費は別途)

・問い合わせ先 (特) 大分県防災活動支援センター 097-576-8611

<旅行代理店 名鉄観光 大分支店>

・募集締め切りは平成 29 年 6 月 23 日 15 時ですが、定員 15 名に達し次第、締め切らせていただきます。お早目にお問合せ下さい)

被災地に立って、わが町の防災を考えよう！！視察項目

①田老仮設住宅居住者でつくる「さけ幟(のぼり)づくりの会」の皆様と交流会

鯉は4年で生まれた川に戻ると云われていることから、以前の活気あふれる地域を取り戻そうと地域おこしの活動をされている皆さんとの交流を通して津波被害の実態を知っていただきます。

②グリーピア三陸みやこ第一仮設住宅1視察

宮古市田老町の宿泊施設の広大な敷地にある3つの仮設住宅の中で最も大規模な仮設住宅を視察、仮設住宅入居者の現状と課題について説明を受けます。

③小堀内地区視察

震災時に潮位を監視していた自治会役員と消防団の9名が最大潮上高37.8mの津波によって犠牲となった漁港の地区です。津波の実際の高さを体感していただきます。

④田老防潮堤視察

過去の二度に亘る津波被害を教訓に建設された高さ10mの防潮堤も無残な姿となりました。再建された防潮堤に立って津波襲来時の様子、現在の課題などについて震災語り部から話を伺います。

⑤宮古市行政視察

町が津波に襲われる映像はあまりに有名です。甚大な被害に見舞われた町が復興するまでの現状と課題について研修します。

⑥大槌町の特養らふた फिल्ズ視察

震災発生直後、福祉避難所に登録されていた施設に多くの避難者が殺到し、まるで野戦病院だったと云われています。重症者も抱えて施設職員がどう対応したか、福祉避難所として災害にどう立ち向かったかを伺います。

⑦鵜住居地区防災センター跡・鵜住居小学校跡

津波前に防災訓練を行ったことから、200人を超える住民が避難場所と誤解して避難し、犠牲となった場所。すでに取り壊されていますが、防災訓練のあり方に警鐘を鳴らしています。

⑧陸前高田市(復興商店街・奇跡の一本松)

三陸沿岸で、いち早く嵩上げした上に開設されたマーケット街と奇跡的に残っていた一本松に立ち寄ります。

⑨気仙沼本吉の仙翁寺

津波から逃れた300人以上の住民が一時期、協力し合って避難生活を過ごした大きなお寺さんです。避難所生活に何が重要か教えていただきます。

⑩南三陸町志津川中学校と防災センター

襲来する津波の映像が撮影された志津川中学の坂道から、復興状況を確認していただきます。女性職員が最後まで避難放送を呼びかけて犠牲となった防災センターも視察。

⑪大川小学校の悲劇(大川小学校跡地)

津波が襲来する直前の避難行動の遅れから児童74名が犠牲となった石巻市立大川小学校跡地を視察し、迅速な判断と避難の重要性について検証します。

⑫石巻市行政視察(被害と復興の取り組み状況)

津波当時の災害対策本部の責任者から災害時の対応と復興の道のりについて伺います。

⑬福島県相馬市、双葉町など原発事故の被害地域で当時の様子や現況について視察します。